

東電パートナーズが、介護福祉士の資格取得希望者向けに11年度から開講している「介護福祉士ポイント講座」の受講生の国家試験合格率が、業界平均を18ポイントも上回る好成績を挙げて話題になっている。介護福祉士は、介護実務経験3年以上の者を対象にした国家資格で、年度ごとに実施される国家試験で総得点の60%以上を獲得することが合格の条件となっている。そのため同社は、研修期間8日(筆記試験対策4日、弱点補強1日、模擬試験・実技模試3日)の特別カリキュラムを新設して、一般向けに同講座を開講。その結果、初年度における講座受講者の合格率が、全国平均の63%を大きく上回る82%(計46人が合格)となったもの。この実績を踏まえ同社は、12年度も東京都と神奈川、千葉、埼玉3県で今月より同講座を開講する。